

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 組	5 月 19 日 (月)	小野川莉乃

● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス～天気～ 雨と雪はどこから来るの？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
<p>プレップで梅雨について話をしたときにどんな天気が好きか聞くと晴れだけでなく、「雨の中で水たまりで遊びたい」「雪が降ったら雪だるまを友だちと作って遊びたい」等その天気の特徴をあげながら子ども同士話す姿が見られた。また、空を見上げて「雨が降りそう」と天気を予想していた。</p>		
活動スケジュール		環境設定・準備物
時間	内容	
16:00～ 16:10	<ul style="list-style-type: none"> 今日の天気について聞く。 くもりや雨という発言があり、他にもどんな天気を知っているのか答え始める。 雪という発言があったので雪が何で出来ているのか自分の意見を発表する。 水で出来ているんじゃないかと子どもからの予想が出た。 	<ul style="list-style-type: none"> 窓を開けて今日の天気について確認する。
16:10～ 16:20	<ul style="list-style-type: none"> 実験①の準備をする。 どうなるか予想する。 実験を行い変化を観察する。 コップの温度を触って確かめる。 水温が下がると氷が入っている水位の所が白く色が変わっている事に気付く。 白い所は水が付いているという事に気付く。 コップの周りについて水はどこから来たのか予想し発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験①を行う。 〈準備物〉 コップ 保冷剤(氷代わり) 塩
16:20～ 16:25	<ul style="list-style-type: none"> 子どもから「中の水が染み出してきた」という意見が出てきたのでそれを確かめるために水に色を付けて同じ実験を行う。 どのような変化が起こるか予想をたてる。 コップの周りの水に色がついていない事に気付く。 コップの周りの水は空気中の水であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 色水の実験を行う。 ティッシュを用意しコップの周りの水をふき取り、色を確認できるようにする。 〈準備物〉 コップ 食紅
16:25～ 16:40	<ul style="list-style-type: none"> フェルトの木の実験を行う。 フェルトの木に結晶が付き始めている事を観察する。 <p>雨や雪の発生原理やコップの周りについて水が空気中の水であることを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 換気をする。 薬品を使う為近づき過ぎないように伝える。 フェルトに結晶がつく様子を観察する。 結晶の形を観察する。 〈準備物〉 木の形に切ったフェルト アクリル樹脂用接着剤

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・実際の天気を自分たちで確認したことで天気についての話が入りやすかった。</p> <p>・コップの周りについて水がどこから来たのか自分たちで考え、実際に確かめることで中から出てきた水ではなく「空気中の水」であることをより深く理解していた。</p> <p>・色水を使ったことでどこから水が来ているのか、実験結果から分かったことを積極的に発表していた。</p>	<p>・コップの中の水が出て来ているという予想があった時に否定せず「じゃあ確かめてみよう」と子どもたちが実際に目で確かめることで「え、色がついてない」「じゃあコップの中の水じゃないね」と仮説が違ったことにも納得していた。</p> <p>・氷の結晶が木に付き始めると「雪みたい」「雪の結晶見たことある」「水が冷たくなると氷になるんだね」と話していた。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>子どもも天気について「晴れ、くもり」等の知識はあったものの「なぜ？」と考える機会については今までなかった為、子どもたちにとっては新鮮な機会になったようだった。雪や雨の発生原理を理解するのは正直難しいのではないかと感じていたが、実験のなかで予想したり確かめたりすることでこちらが想像する以上によく理解していたことが驚きだった。</p>	<p>空気の中に水があるという発見、コップの中の水が出て来ているという見立て、素晴らしいですね。原理原則を知ることはとても大切です。</p>